

2006年5月29日

RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 7&8 in Nurburgring

第8戦 決勝 レポート

5月28日(日) 予選結果 16位 (トロフィークラス5位) / 出走29台
 決勝結果 19位 (トロフィークラス6位) / 出走29台・完走29台

レカロF3カップ第8戦の決勝レースがドイツ・ニュルブルクリンクで行われ、予選16番手の松村選手は19位だった。

同日午前中に行われた予選ではセミウェットという難しいコンディションを果敢に攻めるものの、タイミングの不運により、16番手に留まった松村選手。ドライコンディションとなった決勝レースでは、同じくドライだった前日のレースの反省点を踏まえ、ギアレシオや空力などセッティングを変更。上位入賞とトロフィークラス(旧型シャーシ使用マシン)の表彰台獲得を狙った。

ここ何戦かで苦手としていたスタートを克服しつつあった松村選手だったが、今回はまたしても若干出遅れてしまい、数台に先行される。しかし、直後の1コーナーでアウト側より一気に3~4台をオーバーテイク。すぐさまスタート時にポジションに戻し、レース序盤は前車を追走。背後よりポジションアップのチャンスを狙う松村選手であったが、その後、思うようにペースを上げていくことができず、徐々に前車との間隔も広がっていってしまう。更に、セッティング変更でダウンフォースを増やしたためか、ストレートスピードが伸びず。もともとダラーラF304は新型のF306よりもダウンフォースが少ないといわれているにもかかわらず、ストレートで簡単にスリップストリームに入られ、3台に次々とオーバーテイクされてしまう。結局、松村選手は懸命の走りも空しく、19位でチェッカー。トロフィークラスの順位も6位だった。

<レース後のドライバーコメント>

スタートを失敗してしまい、抜かれましたが、スタート直後の1コーナーで3、4台を抜きかえました。でも、なかなかペースが上がらず、前の車についていけません。しかも、ウイングを付けすぎたせいか、ストレートスピードが全く伸びず、何台かに簡単に抜かれてしまいました。必死に走ったのですが、全然納得のいくレースができなかったのも、すごく悔しいです。でも、気持ちを切り替えて、何が悪かったのか、どうすれば良かったのか、しっかりデータを解析して、次のニュルブルクリンクの時にはもっといろいろな走り方やセットを試せるようにしたいと思います。次のレースも頑張りますので、応援をお願いします。

第8戦 決勝レース

出走 29台

No.	DRIVER	NAT.	TIME	Best	Team	Machine
1	J.Foster	GBR	25:04.663	1:22.634	HST	Lola/Opel
2	H.P.Tung	CHN	06.004	1:22.903	JBM	Lola/Opel
3	F.Kool	NED	09.141	1:23.129	JBM	Lola/Opel
4	R.van der Zande	NED	10.071	1:23.226	SMS	D F306/Mercedes
5	R.Bruins	KOR	17.845	1:23.494	VAR	D F306/Opel
6	41 J.Theobald	GER	19.402	1:23.693	SMS	D F304/Mercedes
7	27 R.Azzoli	ITA	19.745	1:23.575	Target	SLC/Opel
8	25 N.Hulkenberg	GER	21.757	1:23.390	JKR	D F306/Opel
10	29 N.Gachnang	SUI	22.651	1:23.446	Bordoli	D F306/Opel
11	46 H.Schlegelmilch	LAT	23.493	1:23.700	HST	D F304/Opel
13	31 C.Jons	GER	44.105	1:24.588	JMS	D F304/Opel
15	42 R.Wechselberger	GER	45.399	1:24.013	Prinz	D F304/Opel
16	54 R.Biland	SUI	53.990	1:24.771	Schuler	D F304/Toyota
19	56 H.Matsumura	JPN	56.527	1:25.433	SRT	D F304/Opel



決勝レース結果表 : <http://www.formel3.com/ergebnisse/2006-05-28-r2.pdf>

レーシングドライバー 松村浩之 オフィシャルウェブサイト

<http://www.hiro-matsumura.com/>